

令和4年度の当初予算を紹介します

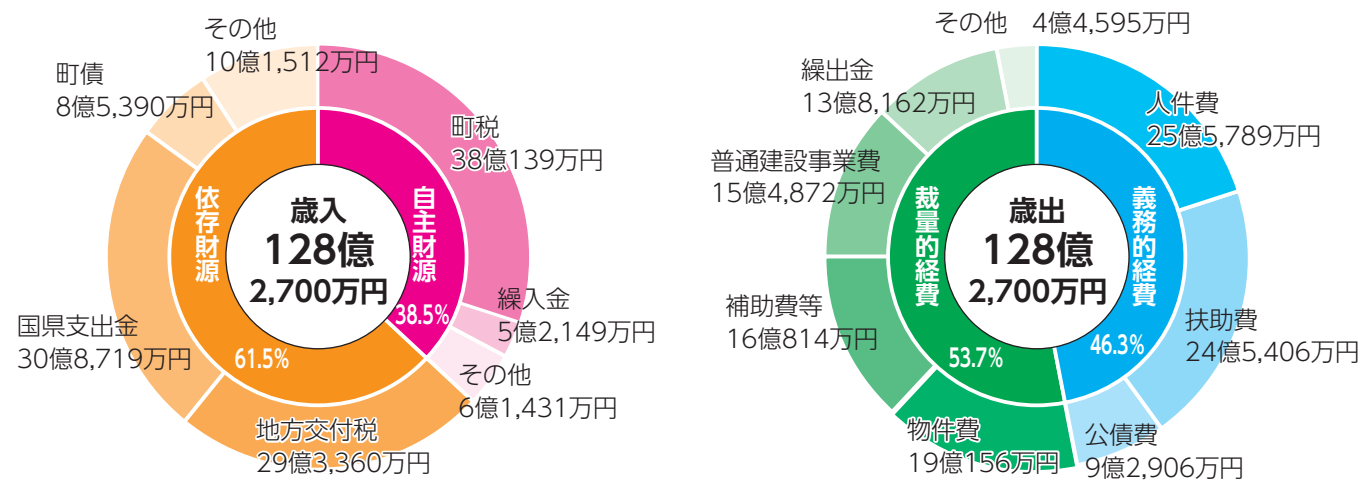


予算総額 **234億2,583万円** (前年度比 +3.8%)

一般会計 128億2,700万円 (前年度比 +7.6%)
 特別会計及び企業会計 105億9,883万円 (前年度比 ▲0.5%)

令和4年度の茨城町一般会計予算は、128億2,700万円で、前年度より9億700万円の増となりました。充実した予算とするため、限りある財源をより効果のある事業へ重点的に配分しました。

一般会計



歳入用語

自主財源：町が自主的に調達するお金です。
 町税…皆様に納めていただく税金です。
 繰入金…町の貯金から取り崩すお金です。
 その他…施設使用料や証明書の発行手数料などです。
依存財源：国や県から補助されるお金です。
 地方交付税…他市町村との財源の均衡を保つために国から配分されるお金です。
 国県支出金…特定の事業に対して国・県から補助されるお金です。
 その他…地方消費税交付金をはじめとした国からの各種交付金などです。

歳出用語

義務的経費：支出することが義務づけられた経費です。
 人件費…議員や各種委員、職員の報酬や給与等です。
 扶助費…社会福祉にかかる経費です。
 公債費…借金の返済にかかる経費です。
裁量的経費：政策的な判断で増減できる経費です。
 物件費…事務費や備品購入、委託等の消費的経費です。
 補助費等…他団体や町民の皆様に対する現金的給付の経費です。
 普通建設事業費…公共施設等の建設や改修経費です。
 繰入金…特別会計に対して支出する経費です。
 その他…預金への積立金、維持補修費などの経費です。

特別会計及び企業会計 ※企業会計は支出予定額

国民健康保険特別会計	35億8,028万円
後期高齢者医療保険特別会計	4億4,004万円
介護保険特別会計	34億6,949万円
農業集落排水事業会計(3条)	3億2,689万円
農業集落排水事業会計(4条)	1億1,235万円
公共下水道事業会計(3条)	6億7,275万円
公共下水道事業会計(4条)	4億5,018万円
水道事業会計(3条)	7億8,353万円
水道事業会計(4条)	7億6,100万円
工業用水道事業会計	232万円
合計	105億9,883万円

【問合せ先】 財政課 ☎ 029-240-7123 (直通)

社会保障財源分

消費税の一部は市町村に分配され、社会保障財源分として社会保障経費に充当することとされています。その社会保障財源は3億9,500万円と前年度より700万円の増となっています。

<社会保障関係経費の内訳>

科目	予算額	充当額
社会福祉	27億2,052万円	1億5,330万円
社会保険	13億8,162万円	1億9,640万円
保健衛生	3億9,596万円	4,530万円
合計	44億9,810万円	3億9,500万円

バイパスや幹線道路など道路の改良工事を実施



生活基盤の利便性向上や交通事故防止のため、引き続き中石崎バイパス道路の新設や生活道路の改良整備を実施します。

森林環境の整備・普及啓発の実施



森林が持つ公益的機能の維持・普及を図るため、間伐に係る費用の一部補助や、小中学生を対象に、木材を利用した事業を行います。

電気自動車の整備

脱炭素型まちづくりの推進及び地球温暖化対策の一環として、電気自動車や急速充電機の整備を行います。

魅力ある公園づくりの推進

「洺沼自然公園魅力アップ計画(令和3年9月策定)」に基づき、洺沼自然公園内に複合遊具を整備します。

りながら必要な支援を行ってまいります。

未来への生活基盤が整ったまち

町における国・県道は、茨城町道路網の骨格を形成し、地域における生活や、産業、物流、緊急輸送などを支える基幹的交通インフラであるとともに、安全・安心な暮らしにおいて大きな役割を担う重要な社会基盤です。しかしながら、まだまだ町内の幹線道路網は脆弱で、未整備区間が多く、今後「国土強靱化の推進」や「ポストコロナ時代の新しい日常の実現」を図るためのネットワークとして、その整備促進を図ることは極めて優先度の高い喫緊の行政課題です。

そのような中、国道6号の整備については、現在、国土交通省において小鶴西交差点周辺改良事業として付加車線設置と右折レーンの延伸に着手しているところです。さらに、小美玉区間の都市計画決定に向けて(仮称)小美玉道路の検討が進められており、町としては、計画策定に協力していくとともに、茨城町バイパスの早期4車線化について石岡市・小美玉市とともに連携し、積極的な要望活動を行ってまいります。

県道整備においては、大洗友部線の茨城中央工業団地から国道6号へ向かう小鶴までの区間において早期の供用開始を目指し、急ピッチで工

車の進捗が図られています。宮ヶ崎小幡線や塩ヶ崎茨城線(長岡中山バイパス)など、各路線の改良とともに、渋滞対策及び歩行者の安全対策について引き続き、県等と協力・連携を図りながら、整備の促進に努めます。

また、町道については、新たなアクセス道路として整備を進めている中石崎市内の町道120号線バイパス化新設改良工事、城之内市内の町道202号線及び小堤地内の町道117号線道路改良工事について、早期供用開始を目指して整備を推進するとともに、通学路の安全対策として、奥谷地内の町道3210号線拡幅改良工事を実施します。

そのほか、ソフト事業として、町民の利便性の向上を図るため、マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストアで早朝・深夜、土日でも住民票、印鑑証明、課税証明などが取得できるコンビニ交付サービスを新たに導入していきます。

みんなの力でつくる自立したまち

郷土を愛する心や人を思いやる温かさなど、豊かな人間性を有する本町の誇る町民性を生かしながら、町民、関係団体、民間企業、大学等の積極的な参画及び協働を促し、「全員参加」によるまちづくりを進めていきます。